ザリガニ釣り

場所	ふるさと田んぼゾーン
時間	1 時間 30 分程度
値段	料金表参照
季節	3 月末～ 10 月末頃
人数	何人でも

プログラムの概要・ねらい

ふるさと田んぼゾーンに生息するアメリカザリガニ（別名：まっかちん）を採取、観察するプログラム。ザリガニがどのような場所に住んでいて、どのようにエサを捕るのか、ザリガニの行動を観察する。

準備物

【利 用 者】季節に合わせた服装、タオル、救急用品
学校・団体：計量器（ザリガニ釣り大会をする場合）

【自然の家】ザリガニ釣りセット（ひも・エサ）、釣竿、バケツ

①準備

ザリガニ釣りセット、釣竿、バケツをサービスセンター受付で受け取る。
日差しの強い時期は、帽子・水筒を必ず持っていく。
活動場所は、部屋やサービスセンターから遠いので、簡単なけがなどに対応できるように救急用品を持参しておく。

②実施の流れ

【時間】

0:00　採取方法・注意事項を説明する。
・実施範囲を確認する。（基本的に、田んぼに立ち入らずに行うことができるが、田んぼに入る場合は必ず相談する。時期によっては入れないこともある。）
・終了時間を確認する。
・水辺の斜面は大変すべりやすいので、転んで落ちないよう注意する。

0:10　ザリガニを釣る。（写真①②）
①釣竿に 1m程度のひもを結び、その先にエサを付ける。
②ザリガニは水草の根元や石の陰に隠れているため、ザリガニが隠れていそうな場所にエサを垂らす。
③ザリガニがエサをハサミで挟んだら、離してしまわないようにそっと引っ張り上げる。

①

1:10　採取したザリガニを見て、みんなで話し合う。
大きさを比べ、釣り上げた場所について話し合う。

②

1:25　ザリガニを元いた場所に戻す。
※田んぼに入れると稲を切ってしまうので小川か湿生植物池に戻す。

1:30　終了
※荒天時は実施不可。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙　注意が必要な動植物参照）

応用学校団体　ザリガニ釣り大会…ザリガニを釣ったあと、班ごとに一番重いと思うものを一匹選んで重さを量る。一番重いザリガニを釣った班が優勝。
※アメリカザリガニは、外来種であるため、持ち帰ること（他の場所への移動）はできない。
子どもたちに、外来種の生態系への影響について説明し、「入れない」「捨てない」「拡げない」ことが原則であることの理解を深める。

③後片付け

ひもやエサの袋などが落ちていないか確認する。
畑の脇の水道、又はリフレッシュセンター1 階ピロティの足洗い場でバケツを洗う。
釣竿に付いたひもを外して、釣竿、バケツをサービスセンター受付へ返却する。